

「国分寺市 障害福祉に関するアンケート調査」の調査項目（案）について

平成 29 年 2 月 8 日  
第 3 回 障害者施策推進協議会  
資料 5

「○」は前回調査（平成 25 年度）で質問している項目、「★」は今回初めて質問する項目

区分	番号	設問	前回	備考
基本情報について	Q1～7	回答者、性別、年齢、居住地域、障害の種類等、収入源、金銭管理	○	選択肢に「日常的に医療的ケアが必要」を追加。
福祉サービスの利用状況と今後の利用意向について	Q8～11	福祉サービスの利用状況及び利用意向	○	
福祉サービス利用の満足度について	Q12～15	サービス等利用計画と相談支援専門員について	★	本格導入された計画相談支援について、利用者の満足度を把握。
	Q16	福祉サービスの利用の満足度	★	市内のサービス提供状況の把握及び課題抽出。
その他のサービスについて	Q17	サービスの利用状況及び利用意向	○	
住まいの場について	Q18～20	居住形態、同居家族	○	
	Q21	今後の居住形態の意向（グループホームの入居希望等）	★	グループホームの利用ニーズの把握。
	Q22	今後の暮らしで必要なこと、不安なこと	○	
日中活動の場について	Q23～25	平日の昼間の過ごし方、就労形態、就学や就労をしていない理由、就労の希望、希望する就労形態、就労するために必要なこと	○	
	Q26～27	通園・通所・通学先、学校外での過ごし方	○	18 歳未満の障害児の放課後の過ごし方。
	Q28	日常生活の不安や課題	★	保護者の養育等の不安や課題についてなど。
趣味・スポーツについて	Q29～30	どのような趣味・スポーツをしているか	○	
	Q31	地域の行事への参加	★	地域との交流について。
外出・移動手段について	Q32～33	外出の頻度及び手段。外出時に不便や困難を感じる事	○	
災害への備えについて	Q34	災害時に困ること・不安なこと	○	
	Q35～36	災害時の備え、災害時に頼れる人	○	
	Q37	社会環境整備の状況	★	安全・安心のための環境整備の進み具合把握。
相談について	Q38～39	相談機関の認知度、利用状況、満足度	★	各相談支援機関の認知度の把握。
情報の入手について	Q40	障害福祉サービス等に関する情報の入手先	○	
ヘルプマークとヘルプカード	Q41～48	ヘルプマーク・ヘルプカードの認知度、役に立ったこと	★	ヘルプマーク・ヘルプカードの浸透状況。
差別解消法について	Q49	差別解消法の認知度	★	
	Q50～52	差別を受けたり、いやな思いをした経験、支援や配慮を受けて心に残ったこと	★	差別事例や合理的配慮の好事例の収集。
	Q53	障害の理解促進のために必要なこと	★	
希望・要望について	Q54	国分寺市が障害のある人が暮らしやすいまちかどうか	★	全体の満足度を把握。
	Q55	暮らしやすくなるために充実してほしいこと	○	

前回調査ではあったが、今回削除した主な調査項目

居住年数、今後希望する進路、住み替えの経験等、介助の状況、外出の際一緒に出かける人、防災訓練への参加、避難場所の認知、虐待防止の窓口の認知度、通院の状況